



資料様式第3号

令和4年7月6日

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名 今田佳男

視察・調査場	全国市町村国際文化研修所
期 日	令和4年7月4日 ~ 令和4年7月5日
経 費	27340円
参加者氏名	今田佳男
視察・調査的目	令和4年度 国際文化研修 世界情勢からわがまちの未来をつくる ~トップマネージャーの方のために~
内 容 (視察先の現状、竹原市との比較等)	① ウクライナ侵略と世界情報戦争 ~新冷戦と日本の安全保障~ ② 地域資源としての異文化と多文化共生の地域づくり ③ デジタル先進国デンマークから学ぶ、人間中心スマートシティ実現の秘訣 ④ 持続可能な地域社会の構築に向けて
効果・成果等	どの講義も今後の地域づくりに重要な課題であるが、特に「地域資源としての異文化と多文化共生の地域づくり」では興味深い話題が多かった。 ① 日本で暮らす外国人の高齢化 ② 地域防災において被災時の外国人の可能性 ③ 外国人を労働者として職場だけでなく、地域でも受け入れることが重要。 竹原市内に外国人がどの程度暮らしているか、課題はないかを今後研究していきたい。

※ 実施後1ヶ月以内に報告する。

令和4年度



世界情勢からわがまちの未来をつくる ～トップマネジャーの方のために～

世界情勢をしっかりと見極め、変化に負けない特色あるまちづくりをしていくために、各分野で活躍の先生方をお招きし、新型コロナウイルス感染拡大により大きく変化する世界情勢の動向を踏まえて、どのように自治体の施策に取り組み、地域の活性化に繋げていくのか考えます。

7月
4日(月)

「新冷戦時代と日本の安全保障」

英国王立防衛安全保障研究所(RUSI) 日本特別代表 秋元 千明 氏

「地域資源としての異文化と多文化共生の地域づくり」

静岡県教育長 池上 重弘 氏

7月
5日(火)

「デジタル先進国デンマークから学ぶ、人間中心スマートシティ実現の秘訣」

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社ソーシャルインパクト・パートナーシップ事業部

社会イノベーション・エバンジェリスト 中島 健祐 氏

「持続可能な地域社会の構築に向けて」

日本気候リーダーズ・パートナーシップ 共同代表

三井住友信託銀行ESGソリューション企画推進部 主管 三宅 香 氏

開催要領

日 程

令和4年7月4日(月)～7月5日(火)(2日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

①市区町村長・副市区町村長及び部長級職員等

②市区町村議会議員(議会事務局を通じてお申し込みください)

この研修では、2日間ご受講いただくのはもちろんのこと、どちらか1日のみでもご受講いただけます。

募集人数

30人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修)

※この研修では、外泊可能としています。宿泊されない場合は、事前にお知らせください。

※1日のみのご受講の方は、宿泊いただけません。

経 費

6,900円

左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食1回、昼食1回、夕食1回)、資料等にかかる費用です。
1日のみの受講者、宿泊されない場合も同額となります。

なお、事前準備・事前学習及び最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和4年5月23日(月)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

議員の方は、議会事務局を通じてお申し込みください。

受講決定

[Web申込み]が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。

※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)に掲載しております。

受講の可否については、通常、開講日の約1か月前までに通知をお送りしておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2～3週間前までの送付となる場合もございますので、ご了承ください。

経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部
〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和4年
7月
4日(月)

11:00～
入寮受付・昼食

13:00～
開講・日程説明

13:15～14:45

「新冷戦時代と日本の安全保障」

英国王立防衛安全保障研究所(RUSI) 日本特別代表 秋元 千明 氏

15:00～16:30

「地域資源としての異文化と多文化共生の地域づくり」

静岡県教育長 池上 重弘 氏

17:30～

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:00～10:30

「デジタル先進国デンマークから学ぶ、人間中心スマートシティ実現の秘訣」

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社ソーシャルインパクト・パートナーシップ事業部

社会イノベーション・エバンジェリスト 中島 健祐 氏

10:45～12:15

「持続可能な地域社会の構築に向けて」

日本気候リーダーズ・パートナーシップ 共同代表

三井住友信託銀行ESGソリューション企画推進部 主管 三宅 香 氏

12:15～12:30

閉講・事務連絡

講師紹介

英国王立防衛安全保障研究所(RUSI) 日本特別代表 秋元 千明 氏

早稲田大学卒業後、NHK入局。30年以上にわたり、軍事・安全保障専門の国際記者、解説委員を務める。冷戦時の東西軍備管理問題、湾岸戦争、ユーゴスラビア紛争、北朝鮮核問題、同時多発テロ、イラク戦争など、豊富な取材経験を持つ。一方、RUSIでは1992年に客員研究員として在籍した後、2009年、日本人として初めてアソシエイト・フェローに指名された。2012年、RUSI Japanの設立に伴い、NHKを退職、所長に就任。2019年、RUSI 日本特別代表に就任。日英の安全保障コミュニティに幅広い人脈があり、両国の専門家に交流の場を提供している。大阪大学大学院招へい教授、拓殖大学大学院非常勤講師を兼任する。

専門分野は国際安全保障、インテリジェンス、地政戦略論、軍事史。

著書に『復活!日英同盟』(CCC メディアハウス/2021年)、『戦略的地政学』(ウェッジ/2017年)。



静岡県教育長 池上 重弘 氏

北海道大学大学院文学研究科修了。北海道大学助手、静岡県立大短大部専任講師、静岡文化芸術大学助教授を経て、2008年より同大文化政策学部教授。2022年に同大名誉教授。2022年4月に静岡県教育長に就任。専門は文化人類学、多文化共生論。日本社会の多文化・多民族化に伴う地域の問題を実証的に研究。

主な著作に『ブラジル人と国際化する地域社会—居住・教育・医療—』(編著、明石書店)、『移民政策のフロンティア』(編著、明石書店)など。

社会的活動としては、移民政策学会会長、「多文化共生の推進に関する研究会」(総務省)構成員、「学校における外国人児童生徒等に対する教育支援に関する有識者会議」(文部科学省)委員、「外国人との共生社会実現のための有識者会議」(出入国在留管理庁)委員をはじめ、静岡県や愛知県、浜松市等の多文化共生関連の委員を歴任。



三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社ソーシャルインパクト・パートナーシップ事業部

社会イノベーション・エバンジェリスト 中島 健祐 氏

通信会社、米系コンサルティング会社、デンマーク外務省を経て現職。ビッグデータ、IoT、人工知能、ロボットといった先端技術を利用したスマートシティやデジタルガバメントなど社会システム全般に関するコンサルティングと企業向け成長戦略策定支援が専門。また通常のコンサルティングに社会デザイン、デジタルデザイン、人間中心デザインの要素を統合した新たなコンサルティング領域を提供するなど幅広いテーマに従事。

著書に『デンマークのスマートシティ データを活用した人間中心の都市づくり』(学芸出版社)。



日本気候リーダーズ・パートナーシップ 共同代表

三井住友信託銀行ESGソリューション企画推進部 主管 三宅 香 氏

1991年ジャスコ(現イオン)入社。ブランディング部長、クリアーズ日本株式会社社長、グループお客さまサービス部長、イオンリテール執行役員などを経て、2017年イオン執行役環境・社会貢献・PR・IR担当、2021年3月イオン執行役環境・社会貢献担当(～2022年2月)。2022年4月より三井住友信託銀行ESGソリューション企画推進部主管。2019年4月に日本気候リーダーズ・パートナーシップ共同代表に就任し、これまで多数の国際会議や講演、企業活動を通じ環境や地域に貢献する社会の実現に取り組んでいる。



本研修のほかに、市区町村長及び市区町村議会議員を対象に、以下の研修を予定しています。

研修名: 令和4年度トップマネジメントセミナー 日程: 令和4年10月3日(月)～4日(火) ◆詳細は研修日の約2か月前にお送りする研修案内ちらしをご覧ください。

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。